えろイトコ。
EROITOKO
Presented by YUZUPON
ゆずぽん
ANGEL COMICS
ACTION PIZAZZ
BRAND
DM ver.
デジタルモザイク
あっ…
わたしたち…
イトコ同志…
なのに…っ
だぁ…好…きぃ…♥

十年間
触れられなかった
イトコのセイカちゃん
エロ上司の
ペンでつつかれた
乳首
あ…
エロ上司の
書類でコスられてた
クリトリス
ああっ
はひっ
あんなに
おとなしかった
セイカちゃんが…
んんっ！
んっ…
明治(あきはる)く…ん

あ…
ああああん
ぬぬぬ
明治くんのが膣内(なか)に…❤
んくぅ…
キツイ…かな？セイカちゃん
ズッ!!!
ズッ!!!
ズッ!!!
うん…っ
私を離さないで…
大丈夫…
イッパイ動いて…
あ…
ぬぷっ
う…
はっ
だって十年ぶりの明治君なんだもん…
ズッ!!!
ズッ!!!

あはっ
おっぱいもぉ…？
もう…ダメ
セイカちゃんが
キモチよくて…
出ちゃい
そ…！
いい…よ
明治くん…♥
はっ
はっ
はっ
はぁっ
はっ
はっ
何度でも
射精して…ぇ
は――っ
にょちゅ
ぬにゅ
にちょ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

は――
はぁ――っ
は――
俺は…
明治くん…
明治君…
も…いっかい…
こんどは
ナマの明治くんで♥
十年経っても
エッチなセイカちゃんが
大好きだ

ね…
明治(アキハル)くん♥
キスしよ♥
セイカちゃん
大丈夫
パパたちは下で
お酒飲んでるから
生まれた頃から
俺たちはお互いの家を
行き来していた
ん…
クチビル…
やらかい…
同い年の
セイカちゃんと
ほんの少しの
好奇心だったのに
第1話
EROITOKO

もう二度と
セイカちゃんには
会えないんだ――…

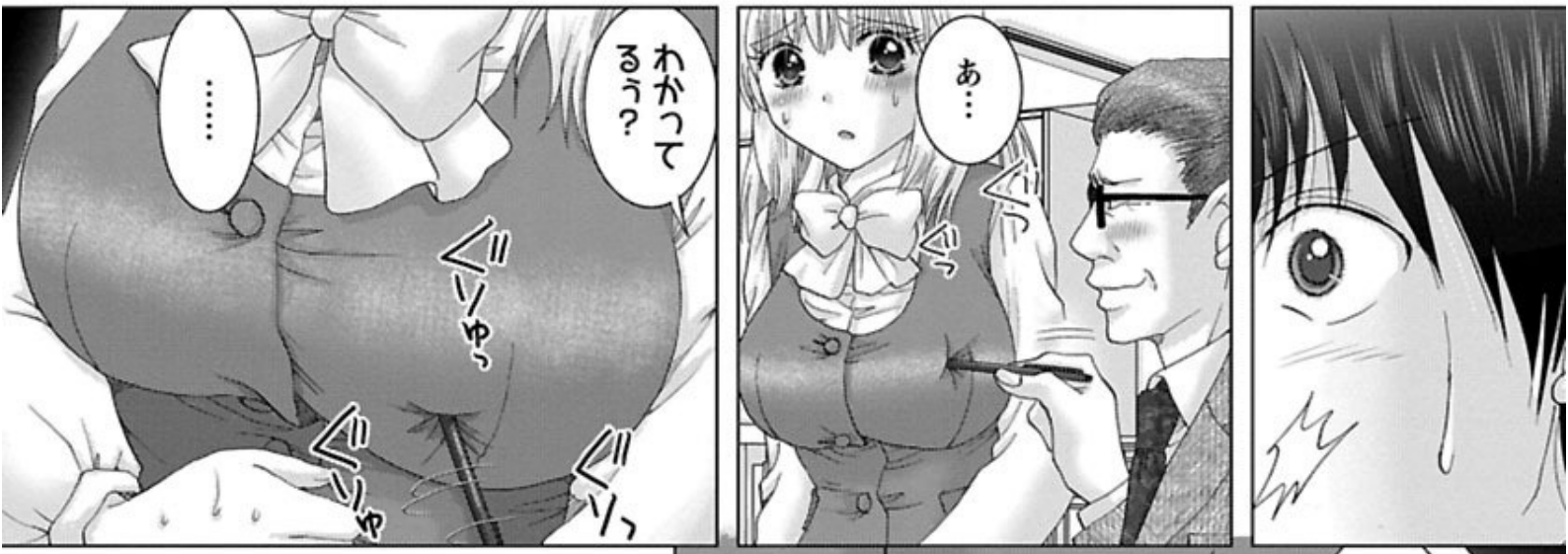
俺のせいだ

俺たちが
こんなこと
しなければ

いや…
俺のせいで
父さんたちを
怒らせた…

…と
思っていたのに…
うちの課の
新入社員
石井明治(アキハル)くんと
石井セイカさんだ
マジか〜
石井って…君たち
親戚かなんか？
え
あのっ
いいえ…
違います…
セイカちゃん…
だよなぁ
家が絶交中
なんだもんなぁ

しかし
十年ぶりに見た
セイカちゃん
ハッキリいって
カワイイ…！
ほらこの資料
よくみて
…はい


あ…
わかってるう？
……

ちゃんと
覚えてよぉ
石井
チャ～シ♥
……
あっ
あのヤロー!!

あ～
スミマセーン
とんっ
気を付けろよ
石井！
このエロ上司！
明治（アキハル）くん
資料室
えーと去年の製品の項目は…
あ！
あったあった
やっ
やめてください！
いーじゃんちょっと触らせてよー
やっ…だ…！
セイカちゃん！

ドドドドッ
うわっ！
なんだ急に資料が…っ
いててて
逃げろ…！
あ…
ありがとう
明治（アキハル）くん…
どきん…

ヤバイ…
おおーい 逃げんなよぉぉ 石井チャ〜ン！
エロいよ…！ セイカちゃん
ずずずっ…
ではー 新人二人の 入社を祝して！
カンパーン！
まんまん
石井くんの ビンゴの景品は お菓子セット!!
あ… どーも…
わ〜大量の たけのこの森♪
ガサ
ガサ
ガサ
あ…コレ 親父の大好物 です…
セイカ ちゃんは…
私は きのこの谷派 たけのこの森派 だぜ！ 俺はー よーし 論争しよーぜ！
あ…

ほーらもっと飲んでー
ポー
またあのエロ上司セイカちゃんにあんなに飲ませて…
十年前に比べてすいぶん静かになったよな…
俺は親父に何も言われなかったけど…
女の子だしやっぱおじさんにキスのこと怒られたんだろうな

じゃ俺 石井ちゃん送ってくわー
ちょっ！
やっぱお持ち帰りフラグじゃんか！
ひとりで帰れますから!?
家も知ってるし！
待ってくださいよー ちゃんと俺が送っていきますから
なんなんだおまえは
石井 おまえテキトーなこと言ってんじゃねーよ
ムッ!!

セイカちゃんは俺の
大切なイトコなんですから！
あ…
あ…
初めっから言ってよねー
なんだぁ
タクシー呼ぶからたのむよー
プー
イトコだって言っちゃった…
ごめんセイカちゃん
ん…
ガサ…

じゃセイカちゃん
また明日
あ
明治(アキハル)くん
お願い…
私の部屋まで
内緒で送って…
ぎゅっ…
ギュ…
私の今日の
景品…
コレ…
だったの…
香り付き
うすーい
あの時の続き
…して…
セイカちゃ…
私もう
…ダ…メ…
明治(アキハル)くん…

ん
んん
は…ふ
十年ぶりの
セイカちゃんの
部屋
はぁ
昔の積極的な
セイカちゃんに
もどったみたいだ
はっ
はぁ
はっ
チュ…
チュ…
でもいまは
あの時の好奇心
なんかじゃなく
は…あ…
チュ
チュ
チュ
チュ
チュ
チュ
チュ
チュ
大人になった
エロいセイカちゃんと
あん…
んっ

はぁ
はぁ
明治(アキハル)くぅん
はぁ
恥ずかしい…
全部は
脱がさないでぇ
あ…
はっ
のう…っ
はっ
んああっ
ぬちゃ…っ
んっ
あ…
あ…！
ぐぐぐ…
あああっ
明治(アキハル)くんのが
全部ぅ…♥
ごめんね
明治(アキハル)くん…

ああんっ♥
あっ
私があのとき
ムリヤリキス
しちゃったせいで
ほんとはずっと
会いたかった…の
ああああんっ
明治(アキハル)くぅん♥
セイカちゃん
ずっと
避けてたのにぃ
また明治(アキハル)くんに
キスせまっちゃい
そうで…！

あはっ♥
でもやっぱ
ガマンできな
かったぁ♥
明治(アキハル)くん
大好きだよ！
俺っ…
俺も…！
セイカ…ちゃ
あ!?
んあああっ
ああっ
ビクッ
ビクン

あ…あ…
出ちゃっ…た
は――
は――
あ
あ
熱いの…
流れ込んで
きてるぅ♥
こんな夜中に
何の音だぁ？
帰ってたのか
セイカー
ひ
おじさん…
あ…
パパ…
お…っ！
おまえは
明治(アキハル)かぁ！
なんなんだ
これはぁ！

パパ〜
ごめんなさーい

こえええっ

ドキッ

ドキッ

おじさんっ
わ…悪いのは
俺なんだ…！

ドキッ

こえ〜〜

なんで俺の家に
たけのこの森なんか
持ってくるんだ！

きのこの谷派の
俺への挑戦だな!?
ああ〜ん？

兄貴も兄貴なら
息子も息子だ！

やるか
ラリゃ〜〜

この十年間 俺たちの
きのこたけのこ戦争は
続いているんだぞ！

パパ…？

俺たち あきらかに
こんなんすけど

あ…
あの…

あのときの
絶縁の原因て
…そこ？

他に何が
あるんだ!?

ええええええ〜〜〜

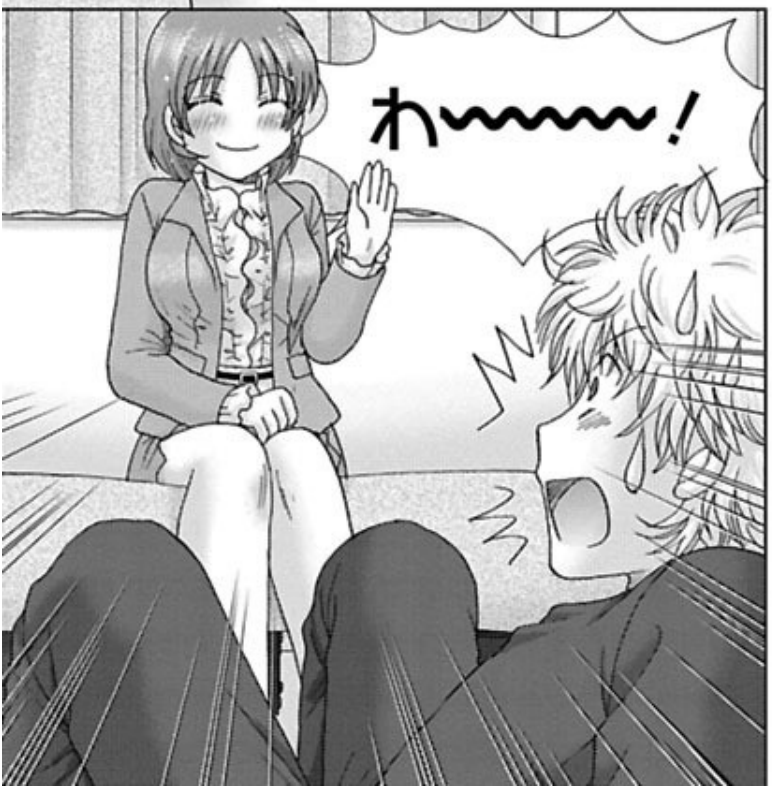
俺たちの
10年間てぇ〜〜

END

辻風

セイジのことなんだけど
大学卒業以来就職もバイトもしないでずっと部屋からでてこないのよ…
カキャ
カキャ
カキャ
このまま一生引きこもるのかしら…
はらはら
はらはら…
おばさん元気出して
わたしがセイジにメールや電話してもずーっとシカトだし
もう…！セイジったら
イトコの私がきたからにはだいじょうぶ！
セイジを引きこもりから救い出すからね！

第2話
EROITOKO



セイジ！久しぶり！
え？だれ!?
私だよー いずみー
い…いずみって
あのいずみ？
セージー!!
あそぼー あそぼーーっ♪
ハデじゃねぇっ？
私だって同い年なんだから もう社会人なんですからねー
あーゆーのは卒業したの
今だって会社帰りなんだよ！
じーーーっ
……
このカッコ見とれちゃった!?
べっ…別に

ひどいよ ずっと
メールしてたのにー
既読すら
してないなんてー
おばさん
心配してたよ！
あ…
あんま
ひっつく
なよな…っ
バイトくらい
したらー？
前はあんなに
遊んでくれたのに！
しょーがないだろ
いそがしーんだから
中身は
全然変わって
ない…っ
さっきから
何やってんの？
チャット？
なにこれ
イミフー
株だよ
知らないの？
変動があったら
証券会社が知らせて
くれるんだ
ここから
離れられ
ないんだよ

ワカンナイー
株ってなんか
オヤジ趣味ー
がふっ
うるせー…
ホラ
え？ 通帳…？
見ていいの？
わ
！
ゼロが
イッパイー
スゴイー
なにこれ
なにこれー
カチャ
だから
ほっといて
くれる？
カチャ
カチャ
おばさ～ん
みてみてー
リ
カチャリ
わ…
ちゅっ♡
わ～～
ちょっと待て！

わぁぁぁ
ゴメン！
……
はぁ？！
こ…こんなの
見せたら
ショック死するだろ
うちの親は…
あ…
うん…
そ…
だね
掴(つか)まれ
ちゃった…
ねー
セイジー
久しぶりなんだから
なんか話してよー
ん～ちょっと今
ムリ…
セイジー
さみしいうおー
だから手が
離せないんだって…
つまんないのー
ゴゴゴ
……

わぁ～～～
エロ本発見ー♪
えっ
ちょっ返せよ
いずみ！
わー
エローい
！
…何かお尻に
当たってるよ…
セイジ…
あ…
……

もしかして
ギャッ
あ…
私でこんなにしちゃったの…？
しょーがないだろ
オ…オッパイさわっちゃったし
パンツ見ちゃったし…
ドキドキ
ドキン
い…いずみなんか雰囲気変わっちゃったし…
ドキ
ドキン
服とか髪形とか…
ドキン
セイジ…
がばっ
セイジィ〜〜〜
うわっ

いずみ…
ねぇ
もっと
かまって♡
こんなコトも
しちゃっても
いいと思うの♡
私たち子供のころから
ずーっと一緒に
遊んでたから
プチ
プチ
プチ
ね？
セイジ
プチン
ん…
あ…
うん…
うん…
いずみ
ぽやん

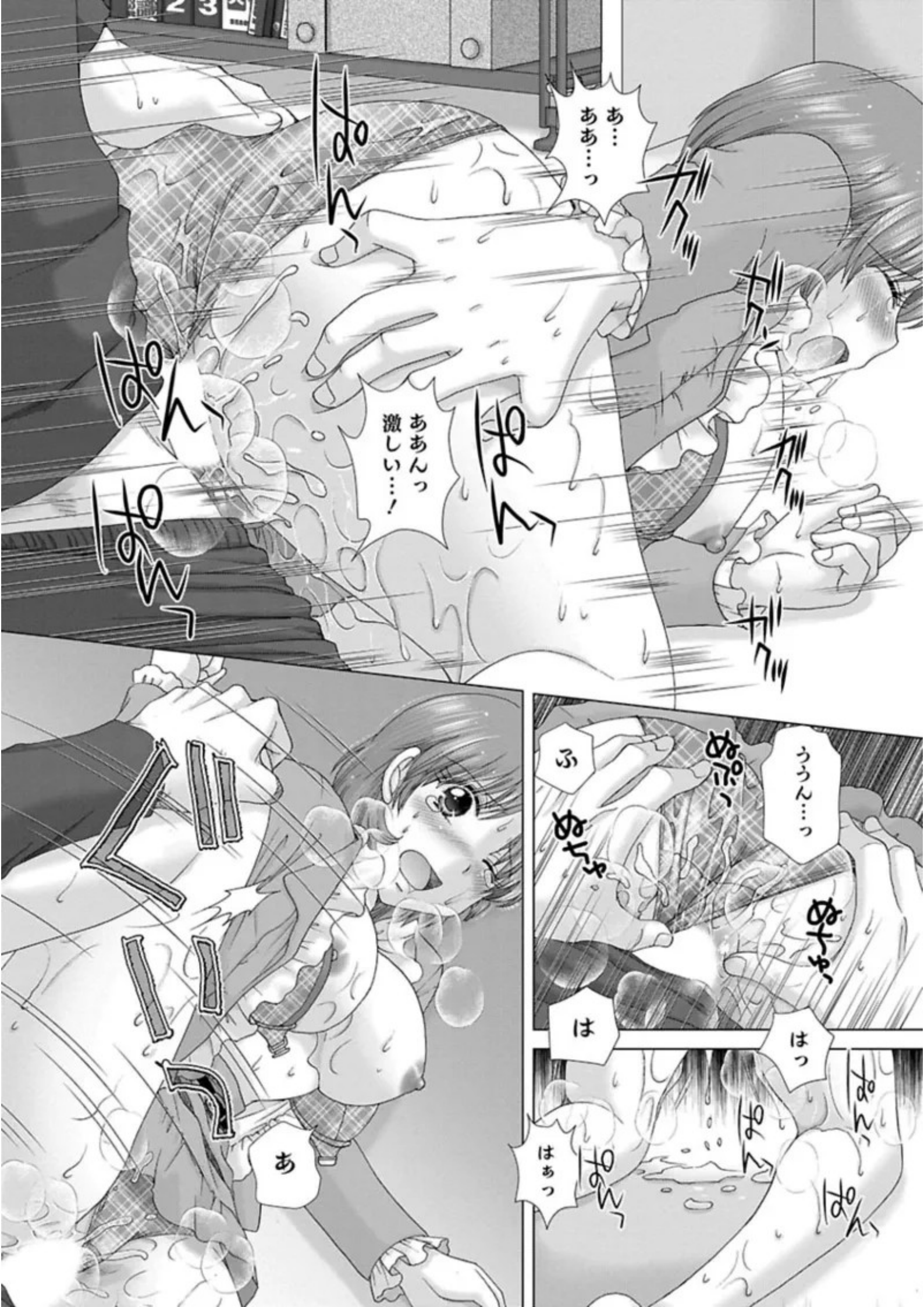
ハア
ハア
ハア
あ…
あ…
あん…
セイジ…
私 セイジのこと
ずっと好きだったんだよ…
でもいつも
私からで
遊びに誘うのも
メールするのも…

ああ
株してるのだって…
教えて…くれないし…
あん…ん…っ
あ…ふぅっ…
くにゅ
ぬちゃ
あ…
あ…
セイジィ…
あ…あ…セイジのバカァ…
ピコン
ピコ
ハッ
ハッ
ピコ
ピコッ
ピコッ
ハッ

ね…なんか
すごくメッセージ
きてるみたい
ピコ
ピコ
今
売っとかないと
大損だって…！
ピコン
ピコッ
ね…
セイジ…
そんなの…
どうでも
いい…っ
そんなの
よりも…
いずみの
ほうが…
セイジ…
ピトッ
…！
…あ…あ…
ぬちっ…
ああ…
あ…
ああっ
ぬぬ
ぬぷんっ！

あ
ああっ
ギチ
ギチ～
ギチ～
あああああ

あ…あ…
いきなり…
キツイ
……イ…
ずっ
ずっ
ずっ
うあ…
ああ
ビクン
ビク…
ガク
ガク…
はっ


あ…
ああ…っ
ぬん
ぬん
ぬん
ぬん
あぁんっ
激しい…！
ぬん
ぬん
ぬん
ぬん
ふ
ぬぷっ
ぬちゃ
うぅん…っ
ぬちゃ
は
はっ
ぬん
ぬん
はぁっ
ぬん
ぬん
あ

あ
あ
あんっ
うそ…
みたいだ…
俺のが
いずみに
挿入(はい)っちゃってる
メコッ
メコッ
メコッ
メコッ
セイ…ジ…
ああん…っ
ぐちゅん
ぬちゃっ
セイジィ…
のっちゅ

ん
にゅるっ
ぬちゅ
ぬちゅん
んんっ
ん――っ
私のお腹
ムズムズ
してるぅ…
ハァ
ハァ
ハァァ…！

あ！ ああ！
ダメエ…！
ひっ
どんどん
早くなるぅ…
セイジに
追い…つけ
ないよぉ
あああ

あ
ドクン
ドクン
ゴメン…すぐ出ちゃった…
ドクン
ドロー…
あ…
膣中にセイジの熱いのがまだ入ってるよ…
ん…♡
やだぁ…見ないで…
熱いの動いてるぅ…♡
あひゃぁ〜
見事に通帳カラッポ…
私のせいだぁ…
ゴメンね

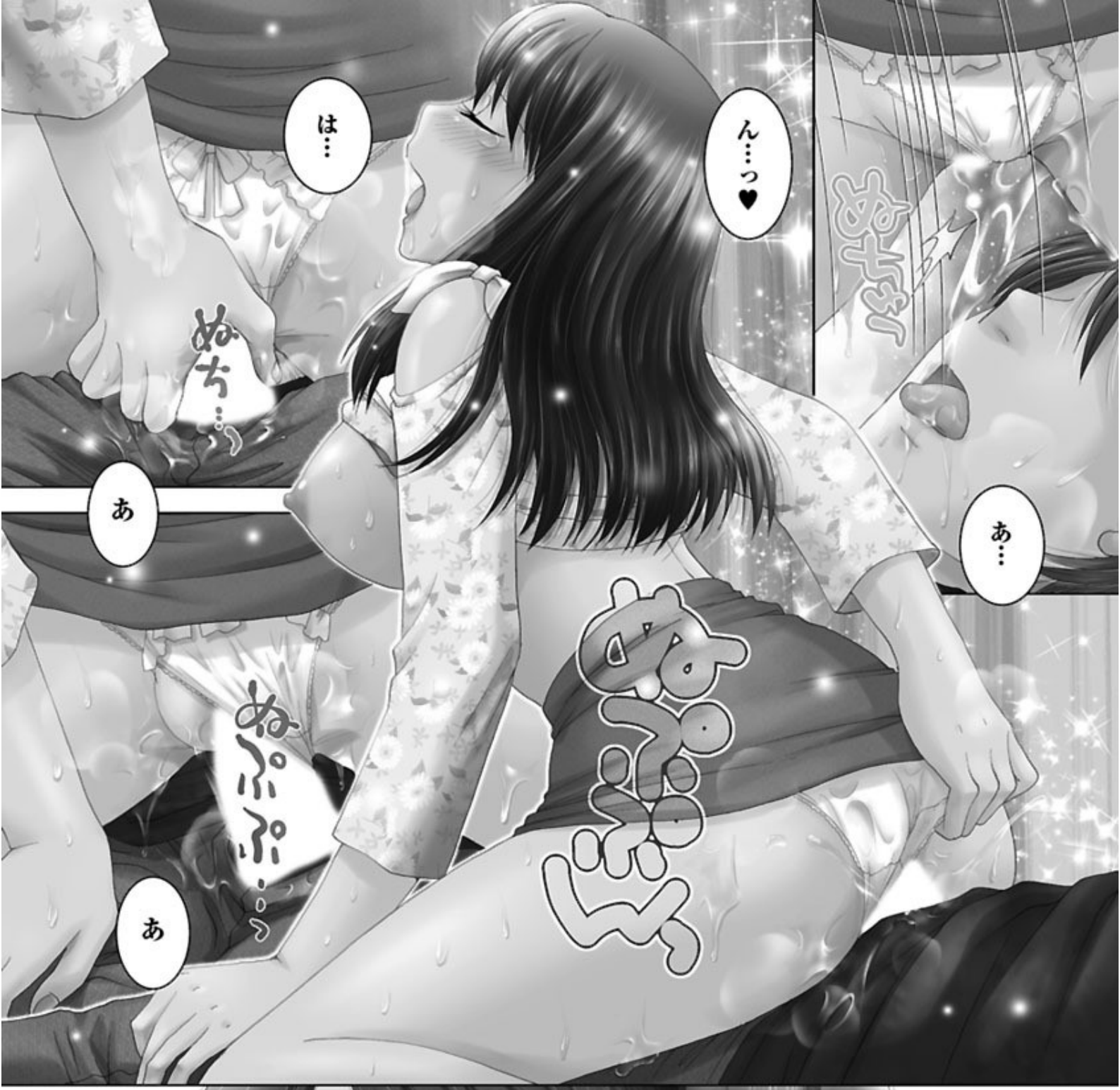
ぜんぜん！
俺には
大損なんかじゃ
ないから！
もっとスゴイの
手に入れちゃったし
セイジ♡

ダイスキー♡
がばっ
わわわっ

困ったわ…

こんどは二人で
引きこもっちゃって
セイジー
いずみちゃーん
コン
コン
コン
今買わないと
だって〜〜〜〜
ガシッ
セイジー
ガシッ
ああああっ
ムリッ！
今はムリッ!!
ガシッ
ピコッ
ピコッ
ピコッ
END

MASAMI
ホラちゃんと舐めてよね
チュル
チュル
チュル…
ん――
んんっ…
洋介もしっかり勃ってるじゃない
挿れちゃおうかなぁー♥
んっ
ぐっ
そんなムリヤリまさみちゃん…
イイワケするなんてナマイキよ
洋介のくせに！
くちゅ
ぬちゃ
くちゅ
スリ
スリ


ぬちゃ
ん…っ♥
は…
ぬち…っ
あ
あ…
ぬぷぷ…っ
あ

分家の洋介が
本家の私に
さからうなんて
ありえないんだから
あ…
大き…いぃ♥

ちゃんと
オッパイも…
んんっ
あっ
ああっ
もっと
もっと
膣奥(おく)まで
ぬぷ〜
ぬちゃ〜
ぬぷ〜
あ…もう
ムリだよ…
まさみちゃん
早いよ！
洋介！
ダメったら
ダメ!!

うあぁっ
私より先にイクなんて
許さないんだからね！
俺は産まれた時からこの横暴なイトコのいいなりになっている…
洋介のおち○ちんは…
洋介は私のモノなんだからぁ！
あん♥イク…
イクゥ♥
だから五回はイカせてもらうわよ
ムリ〜〜〜

山本
俺
三月になったら
東京に行きます
第3話
EROITOKO
ザワ…
何言ってんだ
洋介君
本家のおじさんには
ちゃんと報告
しようと思って
もう
決めましたから…
洋介…

私聞いてない！
そうだぞいずれはうちのムコ養子に…
いや分家の者が本家の許可も得ずに勝手なことされちゃ困るんだよ
そういうのがいやなんだ…

すまんねぇおとなしい息子が今回はきかなくてねぇ
まいったなぁ本家のムコ養子は気が弱い男と決めてんだよ

もうこれ以上まさみちゃんに振り回されるのはゴメンだ

私聞いてないよ！洋介！
洋介！
……

パパーなんとかしてよぉ
うむむ…

早く自由になりたいんだよ
洋介…
こんにちはおばさん洋介は？
あの子は物置にいるわよ
洋介
キィ…
まさみちゃん
何やってんの？
大学で学ぶ学超常現象
俺のものを片付けてんだ
卒業したらすぐ出てくから
大学の入門

お正月の…！
なにあれ
私は
許さないからね
ムリ
会社も内定
もらったし
じゃ命令！
東京行き中止！
聞いてる？
洋介！
……

子供のころから
命令すれば
いいと思って
おとなしくしなさい!!
やだーっ
やめてよぉ
遊びも志望校も
エッチだって
強制だった
ずっと
言うとおりに
してきたけど

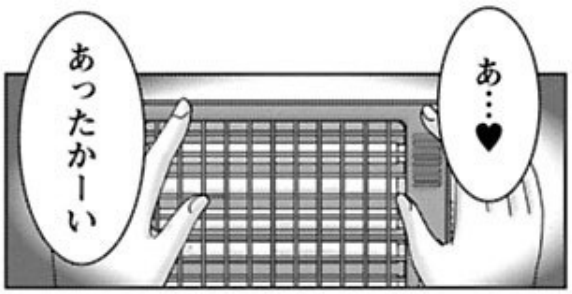
俺は奴隷じゃ
ないんだ
まさみちゃんとは
ただのイトコ同士
なんだから
洋～介～！
わ～それは
ちょっと待って～

ガタン!!
え?

あれドア
開かないよ
ガチャガチャ
屋根の雪が
塞いだのかな…

ケータイは?
持ってきてない
俺も
部屋だよ…
閉じ込められ
ちゃった…?

そー思ったら
寒くなってきたぁ
凍え死ぬ~


あ…♥
あったかーい

ストーブあって
よかった~
夜になったら
家族も気付くよ

……
洋介が
いなくなったら
こんな時 だれが
助けてくれるのよ
友達だって
いないし 私
わかってるわよ
自分でも…
私
ワガママだし
ずっと洋介に
イジワルだったし
ちゃんと反省
してるわよ…
うそ…
まさみちゃんが…
ねぇ どうしたら
東京行き
諦めてくれるの？
どーしたらって
どうしようもないよ

わあああああ！
こうしたら？
今度は私が洋介をキモチよくさせてあげるから
チュッ
チュッ
チュッ
んっ
あ…あ…フェラ…
これがフェラ…
んぐっ
ぐぐぐ…
あ…口の中で大きくなった…
チュプ…
チュプ
プチュ
んっ
まさみちゃん…
んぐっ
んん…
どう…かな洋介…
くちゃ
くちゃ
ぬちゃ
くにゃ

今までムリヤリさせられてたSEXが…
なんだこの征服感…
……
だめだよ…
もっと喉の奥まで！
うぐっ
まさみちゃんのつらそうな顔…
うぐぐ
うえぇ
ぐっ
ヤバい
あっ
ヤバいすごく
キモチいい…！
ふぅっ

もう
止まらない…
じゃあ今度は
服ぬいで
こ…
こう？
あのまさみちゃんが
俺の前で
こんなこと…
やだ…
恥ずかしい…
洋介の
バカ…

まさみちゃん
フェラしただけでこんなになっちゃってるよ
あ
ぬちゃ
あっ
あ
ぬぷ〜
ぬちゃ〜
あっ
ひっ
や…あっ！
あ…は…
俺にこんなことされてんの丸見えだよね
はっ
あ…
はっ
挿入ってるよぉ…三本も…
この顔…
これだけで何度もイケそう…

ホラホラ
ホラァ
挿れて
あげるわよ
洋介！
あのいつもの
まさみちゃんとは
違って
ぬち…
ほら…
びくっ
あ…
ぬぷぷ…
ほら
挿れてあげるよ
まさみちゃん
ぬちっ
んっ
あんっ
ぐちゅん
あふっ
ぬちゃ
はぁぁ！
のっちゅ
ああっ！

こんな格好…
初めて…
だめぇ…
これすごく
深い…っ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
お尻の穴まで
ヒクついてるよ
いやぁ…
そんなとこ
見ないでよぉっ
ひくっ
ひくんっ
ひくぅ…
でもいつもより
すごく
濡れちゃってる…
にちゃ
にちゃ
にちょ
あふ
ああん

ぬちゅっ
ぬぷっ
ああああっ
も…う出そ…
ハァ
ハァ
ハァ
ぬぷっ
ぷぷっ
ぴくっ ぴくん
ぴくっ
やだやだやだ
一人で
イカないでぇ
私も
私も
連れて行ってぇ

まさみちゃ…
ハァ
ハァ
ハァ
どうしよう…
こんなまさみちゃん
見てるよ
決心がゆらぐ〜〜〜
ん…
洋介…♥
あっ
あっ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクン
あーーーっ♥
ビクッ
ビクン
ビクウッ

あふっ…
あつい…よぉ…
ひく
ひくん
トロ
トロ
トロォー…
ひくう…
ひく
ストーブいらなかったな…
あれ…いつの間に…
キイイ…
雪じゃなかったのかドア壊れてんのかなー
……
ああーーっ洋介ーーっ♥
あーーんっ♥
くそ〜洋介のヤツ……っ
よーしまさみパパがなんとかしてやったぞ
大成功だ
これであの二人が仲良くなれば
ウフフフ…
洋介は間違いなくうちのムコ養子だ
くすくすくす……っ

三月
早く早く
次のお店
いくよー
洋介
トロいよ！
まさみちゃんは
俺に付いてきて
一緒に暮らしてる
まってよ
まさみちゃん
仕事でヘトヘト
なんだよ～
外であいかわらず
ワガママ放題で
もう持てないよ～
でも
二人きりに
なると…
ダメダメ
もっと続けて
もう…ムリィ…
早くイカせてぇ
くちゅ
くちゅ
ぬちゃ
指
ふやけちゃう…
おいまさみ
いつ帰って
くるんだよ～
パパ
さみしいぞぉー
まだまだー
END

事業が行き詰まって
愛人と心中ですって
まだ若いのに
未亡人なんて
気の毒よね
えらく美人に
なったな
俺が後十年
若かったらなぁ
いてっ
かなたさん
……
七年ぶりに
再会した三つ年上の
イトコのかなたさん

ヒロヤくん
久しぶりやね
今夜はヒロヤくんも
泊まってくれるとね
うん…
おおきにな
うれしか…
相変わらず
無口やっちゃね…
そう言って
力なく微笑んだ
かなたさんに…
喪服姿の
かなたさんに
俺は不謹慎にも
欲情していた
第4話
EROITOKO

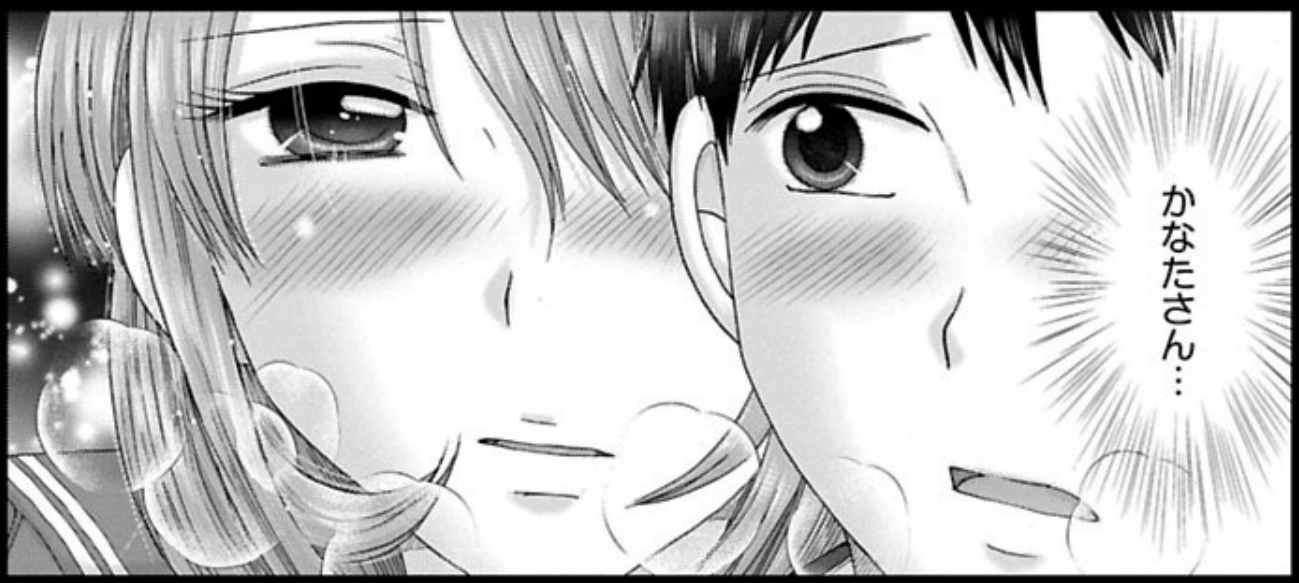
七年前――…
あー会場が広くて迷っちゃった…
控え室どこだっけ？
ヒロヤくんどうしたと？
あ…かなたさん
私も迷っちゃって
一緒に会場探そうが？
う…うん
まだ若かった俺は
年上のかなたさんがまぶしかった
ここかね…
カチャリ
！
あ…！

ズッ
ズッ
ああん
あはぁ…♡
ズリュ
あ…
ズッ
うん
はっ
ぬぷ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬぷ
あああ
な…な…
しっ！
ねえ見て
あの二人
私たちの
親戚やが…
どうしよう
動けない…
ドキン
ドキ
ドキン
ドキン
てか 目が
離せない

初めて見る
大人のあんな
いやらしい…
ぬぷ～
ぬちゃ～
ぬちゃ～
結合部分が
濡れて光って
ぬぷ～

あれ…
不倫やわ
それぞれ
家族が
おったもの

イトコ同士
私ら
みたいに
え…


かなたさん…

ハァ
すごかね
……
ハァ
ハァ

あ…

かなたさんの
息が耳に…
体がピッタリ
密着して
おっぱいが…
思いっきり
押し付けられてる
あああああ
おおきい…！
やらしいような
音も聞こえる
ハァ
ハァ
前から？
それとも
ハァ
ねぇ…
ヒロヤくん…
ハァ
ハァ
こん事は
二人だけの
秘密っちゃ…
あ…
うん…
あれから
どうやって
帰ったんだっけ…

親戚の不倫を
見てしまった…

俺とかなたさん
だけの秘密…

ああ…
かなたさんが
オナニーしてる…
あ…
喪服姿で…
ピチャ
プシャッ
ピチャ
かなたさんは
俺に体を
擦りつけて
オナニーしてたんだ
ピチャ
ピチョ
ピチャ
ピチョッ
こん事は二人の
秘密っちゃ…
秘密って…
不倫を見たこと
なんかじゃなくて
あ…
……
この息遣い
…もしかして…
ハァ
ハァ
あの時…
ピチュン
ピチャ
ピチョ
ハァ
あの音も
かなたさんの
ピチャピチョッ

ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
そうわかったら
余計…
あ…
あ…
カタン…ッ
ヒロヤくん…！
あ…あの…
ごめん…
俺…
あ…
まって！
まって
ヒロヤくん
違うの
これは違うの…

主人(あのひと)のことを想ってしてたんじゃないとよ…
……
この結婚だって…
……ヒロヤくん
体が…疼(うず)いて…いかんのよ…
あなたに会っちゃったら…
もうガマンできんくて
愛人と心中した男なんかに…
……
なんで感謝なんてしてんだよ…
助けてくれた主人には感謝しとるけど…
両親に泣かれて頼まれて
父の会社を存続させるには結婚するしかなくて

お願い…
一度だけでよかから…抱いて…
えっ!?
あのときだって
ドクン
今だって…
俺の体はちゃんと反応しちゃってんだよ…!!
あ…
よかと…?
ル…
ん…
ピク
ヒロヤくん…
あ…ん
う…れしか…ヒロヤく…ん♡
キュッ
コリッ

あ…
…あ
んふ…んんっ
かなたさんが
俺で感じてる
なんて…
コリッ
コリッ
にゅくっ
ぬくっ
は…ぁ
ハァ
くちゃ
あ…
あ
泡立ってる…
ぬるっ
あ
あ…
ぬちゅっ
いやぁ…
ぬるっ
ぬるっ
あんなに指で
かき回して
いたから…
トロ
トロ
トロ…
あん

ぬちゃ
ぬぷっ
ひゃっ
ああぁっ
激しか…っ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬちゃ
ぬちゃ
指…やない
…みたい…
ぬちゃ
ピチャ
ピチョ
ピチャ
ピチュッ
んあああ
やあああ
吸っちゃ…たら
いやぁ…っ
イッちゃう…！
はぁあっ
膣中で舌が
ウネってぇぇぇ…
キモチイイ
……♡
ハ――
ハ――ッ
こげなの
初めてぇ…♡
ハ――
ハァァ――…

ヒロヤくん
ドキ
ドキン
ごめんね 私 きれいな体じゃなかけど
ドキン
ドキドキ
でもきてくれると…？
ドキン
ひく
ひくぅ…
あ…うん…
緊張してうまく挿入らないよ…
ひく
ひくん
あ…
ぎゅっ
私にまかせて…
んっ

ん…
挿入(はい)っ…
んんっ
あふ…
私ら…
あの時と同じことしよる…ね
こんなこと…あっ
いけないっちゃぁ…
あ…んっ！
ちがう…！
かなたさんはもう自由なんだ
ああっ
ああん！

ん

このままずっと
かなたさんの
ナカにいたい…

クチュ

チュッ

クチュ

んんーーっ♡

にょちゅ

にちょ

ぬにゅ

あ…
熱い…いぃぃぃ！

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

膣中が
ドキドキ
しとるぅ♡

ヒロヤくん
……！

御霊燈

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ

今だけ…
やから
せめて膣中に
射精しよって…

……

いやだ…！

今だけなんて
いやだよ
あああああ
そげん
突くと…！
またイッちゃ
うぅう！
また体が
疼いたときは
どうすんだよ
かなたさん…！
絶対に絶対に
離さないからな！
あ…
そげん風に
思っとって
くれてたんね…
…うん
言っちゃった
……
思わず…
ヒロヤくん…

ずるん〜
ぜんルルル
ピクン
ピクン
ピクン
ピクン
ピクン
白で汚れた
喪服のかなたさんは
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
もっとエロくて
やっぱり俺には
まぶしかった
ヒロヤくん
こん事は
二人だけの
秘密っちゃね…♡
七年前と同じ
この笑顔も
END

いつか
俺のこの手で…
はぁ
はぁ
はぁ
ナオちゃんの
アソコを
つまんで
擦って
あ…ふっ
あん
やわらかい
オッパイを
固くなるまで
揉みほぐして
う…ん
んん…ん♥
ナオちゃんに
エッチな
マッサージを
してみたい…
あ…
あ…あ
淳くぅん
くちゃ
くちゃ
ぬちゃ

朝だよー
淳くん！
おきてー
ひっぺが
しちゃうよー
うわっ！
あ
うーん
第5話
EROITOKO

ちょ～～～
見んなぁ～～～～
ひゃー

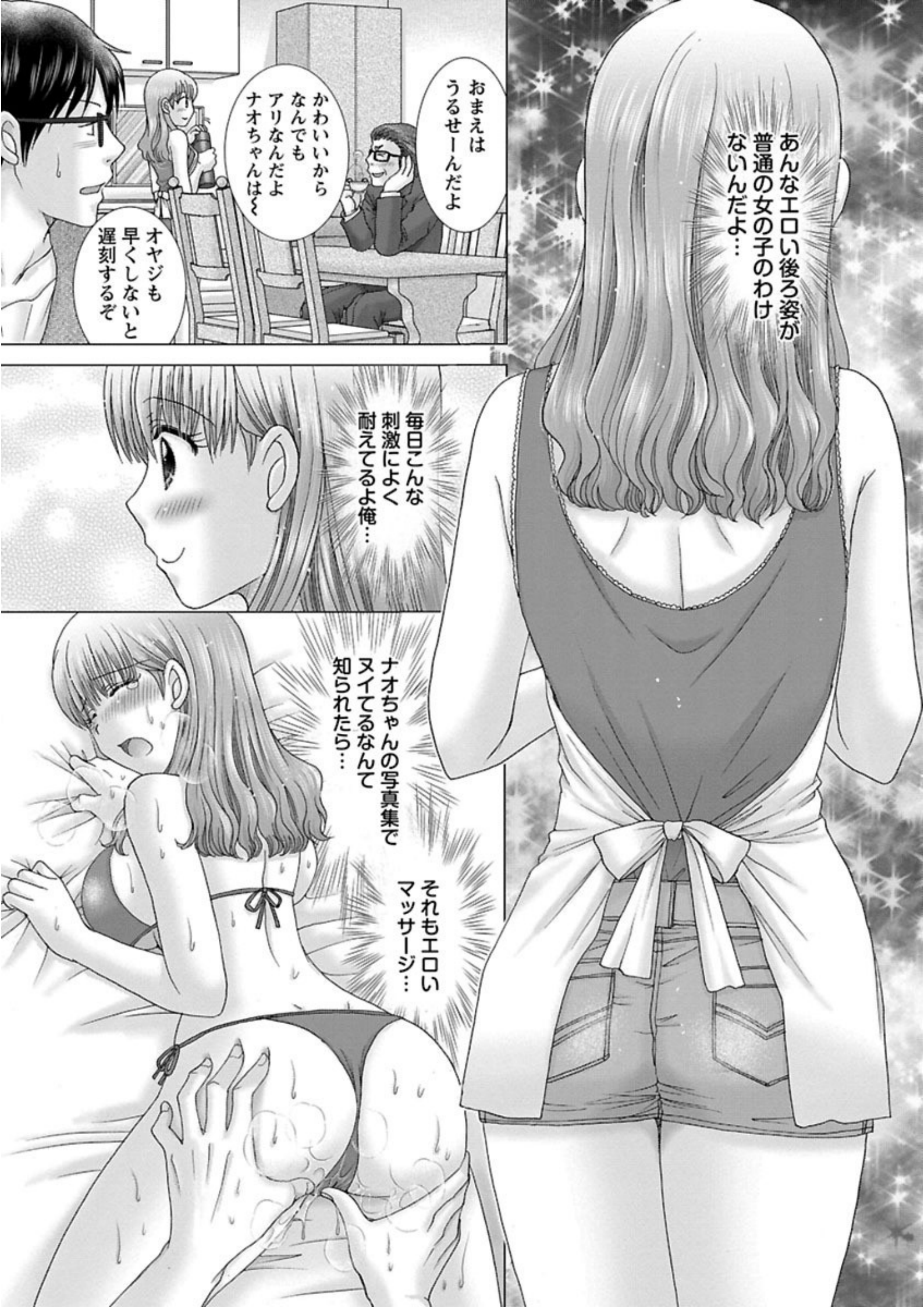
イトコのナオちゃんは
グラビアモデルを
やっている

いきなり部屋に
入ってくるなってー

ハァーイ
ゴメンナサーイ
淳ちゃん
ナオちゃんに
怒るなよ！
裸で寝てた
淳が全部悪い
おじさん 淳ちゃん
今日は撮影で
遅くなるから
夕飯は二人で
たべてね！

オーディションに
受かって上京して
以来ずっと
家に住んでる

写真集もベストセラー入りで
えええ今日海で水着撮影なの!?
うんすごく寒いんだよー
風邪ひかないようにねー
おじさん心配だよ…
家ではごく普通の女の子
胸の谷間が見える…
ねえ淳ちゃん
こんどまたマッサージして
淳ちゃんのお店に行きたいけど時間なくて
わ…わかったから…
ちゃんと服着なって…
着てるよ淳ちゃん
ハダカじゃないもんね
わーもういいから!


あんなエロい後ろ姿が
普通の女の子のわけ
ないんだよ…
おまえは
うるせーんだよ
かわいいから
なんでも
アリなんだよ
ナオちゃんは～
オヤジも
早くしないと
遅刻するぞ
毎日こんな
刺激によく
耐えてるよ俺…
ナオちゃんの写真集で
ヌイてるなんて
知られたら…
それもエロい
マッサージ…

そうそう
そこそこー
やっぱ先生の
マッサージは
最高だねぇ～
ぐっ
ぐぐっ

ね 先生
知ってる？
グラビアのナオが
この辺に住んでる
んだってさ

この店には
きたことないの？
い…いやー
ないですねー

……
やっぱグラビアって
枕営業なんかも
してんだろうなぁ…
うらやましー…
ゾゾゾ
いて～よ先生
いててててっ

写真スクープ
されちゃったじゃん
どっかの
プロデューサーと
密会してたって
え

密会とか
枕営業とか
マジか〜〜〜〜〜!!
本当だ思いっきりスクープされてる…
そりゃナオちゃんとしたいやつなんてゴマンといるもんな
俺だって
大野ナオ
ナオちゃんとは血の繋がったイトコ同士なのに
大野ナオ
DVDや写真集BDまでコンプリしてるしな
ガチャッ
ギクッ
淳ちゃーん!
足つっちゃった…助けて淳ちゃん〜〜〜〜〜!
だから急に入ってくんなって…

部屋でトレーニングしてたら急にー
いたたたっ
あんまり急激に動くとこうなるから
気を付けないと
背中だってこんなに固くなって
ここら辺はストレスがたまりやすいんだよ
ん…キモチいい…
淳ちゃんにもんでもらうのひさしぶりだね…
あああああかわいいなぁー…
ねもっとイッパイして♥
う…うん…
…ヤバい…

なんか汗で
下着が透けてる…！
パンツが
丸見えじゃんか
ノーブラ
だし…！
それに
ぷちゅ
ぷちゅ
ぷちゅ
この汗の音…
やらしい…
あ…
この服
汗びっしょり
着替えてくる
いいよ
だって
シーツも濡れ…
このまま
いいって

だってナオちゃんの汗が
俺のシーツに染み込むだなんて夢のようだろ
すっげーヘンタイぽい俺…
ズリ
ズリ
ズリ
たしかここを刺激すると性感が…
ピクッ
ん…
あ…
実践するのは初めてだけど…
なに…このカンジ…
はぁ
はぁ
はぁ
おおおお！足が…開いてきた……！
さっきとは音が違う…
くちゃ
くちゃ
ぬちゃ
くにゃー
この音…もしかして…
うおっ！
トロォー…
うおおおおっ！

どうしよう…
なんか濡れちゃってる
私…
こんなにたくさん
愛液が…
トロ
トロ
感じやすいんだ
ナオちゃん…
ナオちゃんも
黙り込んでる…
この空気…
何か話さないと…
あ…
あのさ
ナオちゃんって
枕営業とか
してるの？

……
うわ―
うわ―!!
よけいな
ことを～～～
あの週刊誌
見たんだ…
淳ちゃん
それなら…
試してみる…？
え…？

たっ…確かめるって…何を…！
ドキン
ドキン
ドキン
淳ちゃん
私のこと
少しは好きでいてくれたんだね…
！
うわ――
写真集が雪崩おこしてたぁ
このベッドで
私の写真集見てエッチなことしてたの…？
私が他の人とエッチしてるかどうか…
エッチなことして調べてみてよ…

夕べまで
夢見てたことが…
俺の頭の中にいた
ナオちゃん
いつも
服の上からとか
水着でとか…
ぬちゃ
くにゅ
直接触ることが
できるなんて…
膣中…
あったかー
チュン
チュン
チュッ
ああ…
んんっ
あ…あああ…
う…くっ
く…ぽっ…
あ…
指…
キツ…いぃ

こっちも挿れて…いい…？
うん
うん…
指だけでバージンだってわかるのに…
くちゅ…
もう止められない…
ね…
わかった…？
淳ちゃん…
ちゅ♡
んっ
ぐぐぐ…
あ…っ
ひっ
ぐぐぐ…
い…っ

はっ
は
汗が
はりついて
はっ
さっきより
ビショビショ…
はっ
あ…ん
ああっ
あんっ
あふっ
淳ちゃん…
私…

私 グラビア
やめるね…
え…!?
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
私の体
もう淳ちゃんが
見てくれるだけで
いいから…
あ…
ナオちゃん…
ギシッ
ギシッ
ああ…っ
見るだけじゃ
なくて
…あ…っ…
もっと…
いじくって
…ほしい…の♥

すっと夢だった
モデルの仕事なのに
ぬにゃっ
にゃっぷ
にゃっぷ
ああああっ
俺のために
あきらめて…
んくっ
俺だけのものに
なってくれるとか
ぐぷっ
はっ
ああああっ…！
そう思って
くれただけで
十分だよ
あ…ああまた
挿入(はい)っちゃうの…？
も…
三回…もぉ…

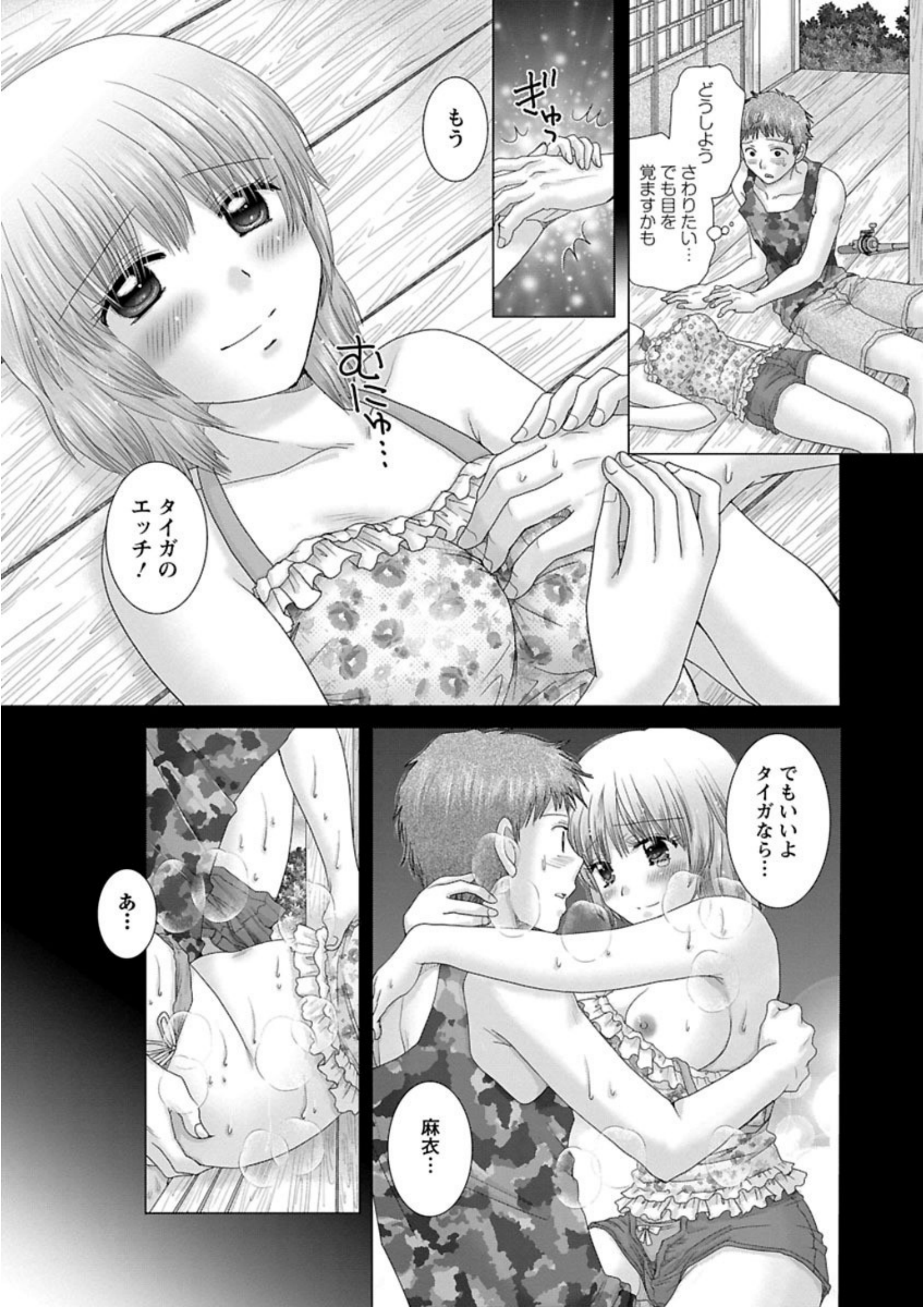
淳ちゃん…
はぁ
はぁ
淳ちゃん
スキスキー♥
やっぱり
エッチは好きな人とじゃ
ないとね♥
上京してから
いろんな人に
告白されても
私ずーっと
断わってたんだよ…
あのスクープ
のときだって…
…てことで
グラビアやめて
女優デビュー
しちゃいましたー！
朝の大河ドラマ
ナオ萌ゆ
きゃー♥
ステキよー
ナオちゃん！
それかぁ!?
END

子供のころから
毎年春夏冬の休みは
叔父の旅館の
手伝いをしている
営井旅館
第6話
EROITOKO
きたきた
タイガ！
待ってたよ
――!!
今年もお世話に
なります
おじさん
助かってるのは
こっちの方だよ
タイガ
って言っても
四月からは就職で
もう来られなく
なるんだよなぁ
うん…
まあ…

もう！ パパ！
それは言わ
ないでよ！
ぎゅう…
麻衣…
就職なんかやめて
うちの旅館で
働けばいいのになー
そしたらスッゴク
うれしーのになー
ワガママは
ダメよ麻衣
いらっしゃい
タイガくん
女将さん
ママの
意地悪ー
家族だけのときは
おばさんでいいのよ
あいかわらず
キレイだなぁ
女将さん…

一つ年上のイトコの麻衣
ね…タイガ
お手伝いは明日からでいいから今夜はゆっくりしてね
あハイ！
子供のころから仲良しだったけど
いつのまにか俺たちは…
麻衣…
今夜タイガの部屋に行ってもいい？
仲良くしよ？

麻衣ー
おじさんが
呼んでるよ…
麻衣…
寝てる…
ゴク…
麻衣の胸…
大きいな…


どうしよう
さわりたい…
でも目を
覚ますかも
ぎゅっ
もう
むにゅ…
タイガの
エッチ！
でもいいよ
タイガなら…
麻衣…
あ…

麻衣との久しぶりのエッチだー

ていっても冬休み以来だけど

あああ夜中まで待てない！

ほっといたら
あいちゃうしな

お風呂掃除でもやって時間をつぶそう！

ガラッ

さあ洗うぞー！

キャッ

！

女将さんだ…
ハダカ…
見ちゃった～
わっわわわっ！
スミマセン！
タイガくん
タイガくん…
お掃除に
来てくれたのね
ありがとう…
もう
あがったから
あなたも
入ってらっしゃい

は…い…

すっげーキレイだったなぁ…

ぽーー…

女将さん目当ての宿泊客も多いもんな…

もっかい見たいなぁ

桜の花びらが肌にはりついて…

あ〜〜〜勃っちゃうな…！

もう勃ってるよタイガ

ギャッ

うわっ！

ボーっとして
何かエッチなこと
考えてたんだー！
麻衣！
タイガがお風呂掃除
してくれてるって
ママが言ってたから
ガマンできずに
きちゃった♡
おかみさんが…
ねタイガ
部屋じゃなくて
今ここで
ギュッてして♡
ストーリー

ぎゅっ♡
あ…
むにゅ むみゅ
あ…
もにゅ
ああ
んっ
くにゅ
くぬっ
んんん
ぎゅむっ
ん…あ
キモチ…い…
タイガのもすごい…
ヌル
ヌル…
ん…

やっぱりタイガも
私のこと
考えてたんだね…
違うんだけど…
ホントは女将さんで
こうなっちゃったん
だけどね…
麻衣
くっ!!
あっ
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ぬちゃっ
あっ
ああ
あん
あふっ
チュッ
チュッ
チュッ
タオルの
ザラザラが
クリに
あたるぅ

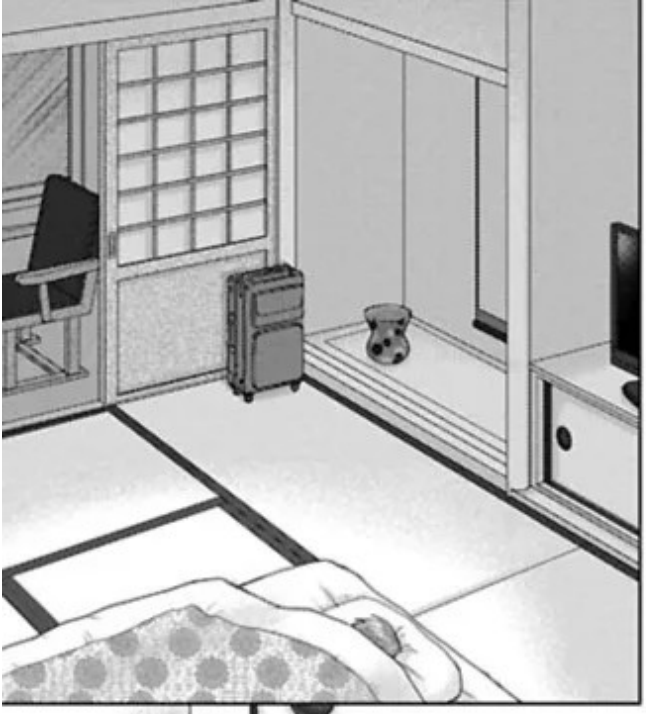
ちゅるん
あん
そんなに
擦るとぉ…
のにゅ
や…もう
イッちゃ…う…
ぐっ!
ちゅるん
!
ぬぷっ
んっ
挿入(はい)っちゃ…たぁ
ズルーッ…
あ
ぬぷっ
ぬちゃっ
ぬぷっ
ぬちゃっ
ひ…っ

あ
ゴポッ
ああん
ゴボボボ
やっぱやだ…！
もうタイガが
来なくなるなんて
帰らないで！
ずっとここに
いてよ！
私なんでも
するから！
麻衣
ビタン
やだよぉ！
ビタン

就活のときは
必死で
あ…
ヌプッ
ズプッ
膣中に
射精してぇ
周りに
遅れないように
何十社も受けて
麻衣のことは
全然考えて
いなかった…
あんっ

やっともらえた
内定だから
そんなに簡単に
決められないよ…
お願い…一度だけ
膣中に…
タイガ…
ごめん…
麻衣…
キュン…

あ…う！
急に締まる…！
ブルッ
ブルッ
ビクン
ビクッ
ビュルルュ
ビュクーッ
ビクン
ビクッ
ああ！
ビクン
やっぱ…今日も膣外に射精されちゃった…
ひくひくぅ…
ひく
ひくん
トロ
トロ
トロォ…



螢井旅館

麻衣 あれから静かになっちゃって
もう今夜は来てくれないのかな…

スー…
あ

ゴソ…
きたぁ！
麻衣!!

当たり前だよな
俺は自分のことばっかりで…
俺だって麻衣とはずっと一緒にいたいけどさ

ま…
あ…
タイガくん…
ええええ――!?
お…女将さん…
しっ！

こ…こんな薄い襦袢で…
下着…着けてない…
女将さんなんて呼ばないで
今は桜子って呼んでねタイガくん
あ…
フリ…
いい？誰にもヒミツよ
お…お…女将さんが俺とぉ!?
END

ねえ
タイガくん
女将さんが
俺の部屋に…
あ…
今日は
タイガくんの
キモチを
聞きたいわ…
ポロン
第7話
EROITOKO

ああ
スリ
スリ
う…あ？

スリ
あ

ああああっ
ぎゅっ♡

キモチって…
胸が
胸があ〜！
麻衣のこと
どう思ってる？

いや？
あ…
いえ…

じゃ私に
まかせて
麻衣のこと
聞いておいて
どうして俺の
チ○ポを〜〜〜

ん…
女将さんのオッパイがグイグイくる…
ズッ!!
ズッ!!
ズッ!!
…くぅ
んあぁ
こんなこと麻衣にされたことない…
いいのよ声出して
チュ…
チュ…
あ
ヤバイ…
チュル…
チュプ
プチュ
んあっ
ヤバイこのままだと…
ニュプププ
あああ
吸い取られるぅ!
うあああんっ
ジュプププ…

ビュッ
ビュルルッ!!!
んっ
ビュッ!!!
スッゴク濃いのね♥
あ ご…めんなさい…顔に…
麻衣はいつでも大歓迎よ
私もね
じゃあねタイガくん
女将さん…俺の気持ちを聞き出すためにこんなこと…?

やっぱすぐには
答えられなかった
営井旅館
おはよう
ございます
おじさん
お！ 今日から
よろしくな！
若女将！
タイガくん
だぞー！
おはよう
タイガ
麻…
あ…麻衣…
だよな…
一瞬女将さんかと
思った…
ニッキン
おはよう
タイガくん
女将さん

麻衣ね 女将修業するんだって 自分から 言い出したのよ
私だって来年 卒業なんだし
せっかくの 春休みなんだから 遊んでられないよね
タイガも 自分の道を 進むんだから がんばらなくちゃ
ムリばっか 言ってて ごめんね
お客様にごあいさつ してこなきゃ
麻衣…
なんだよ… 昨夜来てくれないと 思ったら
お化粧とか 髪型まで 変えて
一晩で 大人っぽく なっちゃって
若女将 がんばれよ！
もうパパ 麻衣でいいよ
いってくるね！

麻衣…
どうして来て
くれないんだよ…
昨夜だって…
俺
今まで
麻衣から
来てくれることが
当たり前になって
いたんだ…
麻衣…
麻衣
起きてる？
ぴくん
キャ…
パサ…
あ…
麻衣…
一人で…
あ…
タイガ…

タイガから
来てくれるなんて
ガマンして
たのにぃ…
カ…
カワイイ…
いつもの
麻衣が
ん
チュ…
チュ…
んん
ぷにゅっ
春休みが
終わっちゃったら
もうあまり
会えなく
なっちゃうね
チュル
チュル
チュル…
あ
ああん
チュ…
あ…

チュ
チュク
チュプ
チュプ
クチュ
チュプ
さっきまで麻衣が
遠くなったようで
不安だったけど
んっ
はふっ
チュ…
チュ…

？

んんん

やっぱ麻衣が
好きなんだ
あは…
チュル
チュル
チュル…

タイガくん…

女将…
女将さんが？

しっ
お…！

私にもして…
あ…
はぁ
ぱくっ
はぁ
女将さんの…
はぁ
チュッ…
んんっ
チュル…
チュプ
プチュ
ああ…ん
あ…おキモチい…
チュプ
プチュ
プチュッ
あん指がぁ
ふぐぐ
プ
プ
プ
そんなに深くぅ…

うそだろ
麻衣と女将さんを
同時になんて
あん
タイガ…
チュルンッ
挿れて…
麻衣の膣中もこんなにヒクついて
やめたくない…
でも女将さんのココすごく濡れてる
ピチャ
ピチョ
ピチャ
ピチョッ
いけない…
麻衣に
気付かれたら…
ガン
ガン
ガン
んぐっ
んぐっ
うん
麻衣…

あ…
ああ…っ

んっ！

ひゃっ！
あああああ

はぁっ
ああっ
はじめから
こんなに…！
あっ
今日のタイガ
変だよ…！
ああああん
んあああああ
やだ
やだぁ
もう
イッちゃうよぉ

うわっ！
ほら一緒にイッてあげてタイガくん
女将さん
あ
麻衣…俺もう…
ああ
んあっ
あああああっ
あ

うあっ!!
ああああ
あ――――っ!
タイ…ガァ!!
ドクン
ドクン
タイガが膣中に出てるぅ
麻衣
キモチよくて失神しちゃうなんて
熱いのがイッパイ…
ひく
ひくぅ…
ひくん

さ タイガくん こっちにも きて…
トロ
トロォ…
トロ
女将さん… でも…
大丈夫よ この子は 眠ったら 起きないから
あんなに 射精したのに また…
ぬちゅ…
んっ
ぬぷぷぷ…
んくぅぅ
う…ぁっ 締まる…っ
麻衣とは 膣中が全然 違う…
あ
は

あんっ
ダメです…！
もうすぐ
でそ…
はぁっ
女将さん！
んあっ
ああ
クリも麻衣のと
擦れて…
私も…もうずっと
待ってたの…よ
ん…

うぅん
…んっ
あんっ
タイガく…!!
あ！
あああ
あ…

イクイクイクイクゥ!!
ああん
すごく素敵よ
タイガくん
これからもずっと
仲良くして
私たち二人を
……
ねぇ？
ん…

おっはよー
タイガ！
昨日あれから
変な夢
見ちゃったの
ママがね…
え…
ううん
何でもない
ただの夢だし
くすくす
くす…
これから
どう麻衣に
切り出そうかな…
あ…
あのさ…
麻衣…
さー
お仕事
お仕事♪
麻衣っ！
ずっとここに
いたいって…
END

そう 胸の下に
手を置いて 腕をそのまま
持ち上げて
ピロちゃん
ん…
そのまま
ストップ
ねえ
諭吉君
このポーズ
諭吉君の
マンガにどう
役立ってるの？
ああ…うまく
描けないなぁ
じゃ次は
足を開いて
キャッ

こ…
これでいいの…？
第8話
EROITOKO
ねえ 今どんな絵を描いてるの？
う…んあとでね…
やっぱここがわからないなぁ～
もう開かない～
トン
トン
トン

諭吉君
家出してから
ひと月だって
螢井
マンガ家に
なりたいって言って
お義兄さんと
もめたんですって
あー兄貴は
頭固い
からなぁ
兄貴たちも
大変だよ
諭吉君の
居所が見つかったら
知らせて
あげないとね
……
ごちそうさま
夜食のおにぎり
持ってくね
ミヒロ 今夜も
勉強なの？
うん
看護学校の
実習が大変で
がんばってね
うん…
ママ…

カキャッ
諭吉君
ス――
おにぎり
持ってきたよ

ありがとう
ピロちゃん

ピロちゃんは
子供のころから
いつも俺の味方
してくれてたな
今も押し入れに
かくまって
くれて…
私は
諭吉君の夢を
すごく応援
してるから
INK
きょ…
今日はさ
ピロちゃんに
お願いが
あるんだけど…
え

あ…あの
諭吉君
これで
いいの？
パンツ
見えてない？
見えてない
見えてない
看護学校の
実習服で
ナース服で
モデルなんて
足閉じてて
いいからね♪
ここ
もちょっと
シワを…
きゅっ
この食い込みを
大事に
したいんだ
きしゅ
きしゅ
きしゅ
きしゅしゅん
あ…
ああっ

どうしよ…
さわっていないのに
お尻のあたりが
ムズムズしてる
自意識過剰
なのかな 私
前のボタンも
ちょっと開けて
あ
プチ
プチ
お風呂上がりだから
ブラも付けて
ないのに…
乳首が
みえちゃうよー
でもこれも
諭吉君の
ためだよね

これマンガの下書き…？
あ…
エ…エッチなマンガだぁ～
このナースもしかして私…？
ミヒロ
コンコン
ドクン
早く押し入れに！諭吉君！
洗濯したの持ってきたわよ
カチャ

あ ママ ありがとう！
ひゃぁ～ フスマ閉めるの 間に合わなかった～
ナース服 なんか着て どうしたの？
うん 明日の実習で ちゃんと着られるかな って…！
そうよね～ 毎晩夜食 食べてるものね～
ぽちゃ
ひゃんっ！

どうしたの？ミヒロ
う…うん 今押し入れの中片付けてて
あ…
パンツの上から触ってもやらかい…
くにゅ
くにゅ
ヒクヒクしてる…
今 俺の求めているものが目の前に…
パンツ…濡れてきたぁ
タポン
タペン
あ…あ…
やっ！垂れてきちゃう！
ガクン…!!
こんなに溢れてこぼれそう…
こぷぷ
トロォー…
！

ミヒロ？
うんちょっとストレッチ…！
諭吉君の描いたエッチなマンガのせいだよぉ
こんなに濡れちゃうなんて…
ピロちゃんのおっぱい…
ああ諭吉君のエッチィ…
フカフカだ
あ…
おにゃ
もにゃ
こ…こんどはそっちぃ？
じゃおやすみミヒロ
うん…ママ…
きゅっ
きゅっ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ…
ん…

はぁ
はぁ
はぁ
ん…
カチッ
はぁ
やだ
はぁ
そんなに照らさないでぇ
学校で習ったこと教えてよ
ここは？
ピトン
んぁっ…わかってるくせにぃ…
マンガのセリフに使うからさ！
クリッ
クリュ
コリュ
んあっ
クチュッ
あ…

い…
陰核包皮…
の中に…
…陰核…が…

キゅっ

んんー！

ここは？

い…
陰唇…
のびちゃうよぉ

ビィーン

はぁ

はぁ
はぁ

じゃ ここは
ピロちゃん

あ…
ち…

膣…口…

よよよよし！
描ける
描けるよ…！
やだよ
諭吉君
こんなこと
されちゃってる
私のほうが
おかしくなってるぅ
今は
描かないで
挿れて…
恥ずかしい
……
でも諭吉君の
マンガと同じこと
してほしい
……
うん！
うん！
ピロちゃん
ピトッ
あ…

ぬぷぷ…っ
あ…
ああっ
諭吉君が挿入った…
すっ
すっ
すっ
…あ！
んっ！
すっ
キモチいい……！
ピロちゃんの膣中…
ピロちゃんの感触
ぐちゅん
ぬちゃ
のぐちゃ
これだ！これだよぉ
よかった…諭吉君の役に立って…

ぬぷ〜
もっと膣中に挿入ってきて
イッパイ描いて…
ぬちゃ〜
ぬぷ〜
あ
ギシッ
ギシッ
あ
もっとゆっくりぃ
ガク
ガク…
じゃないともう…
ま…まって…！
ぐちゅん
ぬちゃ
のっちゃ
あ
ビクン
ビク…

うぁ…ん！
ぬちゃ
にゅぷ
ぬちゃ
イ…
…クッ！
諭吉君も
イッちゃってる
トロ
トロォ…
あ…あ…！
まだ
動くの…！
ああああ！

チチ…
ピチチ…
諭吉君も
何度も
出してるのにぃ
もうお腹の中
イッパイ
ぬぷん
にゅぷぷ
のちっ
あああああ
またイク…！
ハァハァ
ハー
ハッ
ねぇ
諭吉君
私…
諭吉君の夢が
かなうまで
がんばるからね…

一ヶ月後

ヤッター念願のマンガ家デビューだ！

論吉君何コレ〜〜〜

そーはく…

私と諭吉君本名で出てるし！

ピロちゃん

会話の一つ一つまで！

あああっ

諭吉くーん♥

ママに

押入れに諭吉君をかくまっ

見つかっちゃうよぉー！

この前のこと丸ごと描いちゃうなんて！

みんなには内緒なのぉ…

え…だって描いていいって…

パパやママおじさんたちにもバレちゃったよ〜

ミヒロ!! 諭吉くんそこにいるんだろー!!

ドンドンドンッ

マンガみたぞっ

もうこっから出さない！

おにぎりもなし！

許してよ〜ピロちゃん！

あけろーっ

わかってるんだぞーっ!!

KEEP OUT

END

星乃さん
しずくちゃん
お願いします！
少しの間ここに
居候させて
ください！
第9話
EROITOKO
上京してすぐ
会社が倒産して
社員寮も閉鎖
給料も不払い
貯金も底をついて…
家事全般は
得意なので
どうか！
えー男の人と
住むの？
いいじゃない
イトコ同士だし

私たち姉妹は家事苦手なのよ
ぐちゃ〜〜
ほら
一時間後——
ピカピカ
うわ
キラキラァ……
ちなみに料理も得意です
あらーステキ
料理…
ゴク…
しょうがないな寝込み襲ったら刺すからね
女子大生なんだよこれでも！
うん 大きくなったねしずくちゃん
……
ザー
ザー
四つ年上のイトコのユウキ

小さいころ
ユウキのお母さんが
よく入院していて
その間ユウキは
家に泊まっていた
よく
ホットケーキを
作ってくれて
ママがよく作って
くれるんだけど
美味しくできたら
いいなー
いつも優しくて
お兄ちゃんみたいで
大好きだった
パパとママは
お仕事
四つ上の
お姉ちゃんは
部活
私たちは
いつも二人で
お留守番だった
本当は会えて
うれしいのに
どうして
あんなやなこと
言っちゃうのかな私

カラ…
あ
きゃっ！
ご…ごめん掃除で…っ
もう！でてってよ！
つるっ
あ
すてんっ
いたっ
しずくちゃん！
あ…
うわっ

あ…
しずくちゃん
大丈夫…
いいからっ
あっちいって！
でも 私のココ見て
どう思ったのかな
……
み…見られ
ちゃった…
一緒にお風呂に
入ったことも
ないのに～
糸引いてる
……
ぬちゃ…
あ…
あ…
くちゃ
くにゅ
くちゃ
ぬちゃ
んんっ

あ…
…ああっ
ぬるぅ
ぬちゅう
んあ
ぬるぅ
ぬちゅう
もっと…
擦(こす)りつけてぇ
ぬるぅ
ぬちゅう
ユウキィ
ぬるぅ
ぬちゅう
う…く
ぬるぅ
あ…
あ…っ
も…
イッ…
んあっ！
トロ…
あふ…
ROS

んあ
…あ…
ユウキでしちゃうなんて…
ひくん
ひく
ひくぅ…
トロ
ユウキは今日来たばっかだよ…
トロ
トロォ…
小さい頃はこんなこと思わなかったのに
やだ…私…
ユウキ……
……

ただいまぁ…
カキャ
あ！ お帰り しずくちゃん！
あ…
そうだ… ユウキが いたんだっけ…
わ… すご…
ちょうど 良かった 今 カップケーキ つくったんだよ 食べるよね？
昔よく おやつを一緒に 作ったの 思い出してさ
ホットケーキ コゲコゲに なっちゃってさ
ユウキ…
証拠隠滅に ムリヤリ 食べたよねー
あ… おいし…
よかった

……
ゴメン 急に
転がりこんできて
母さんを
亡くして以来
ずっと
独身だった親父が
再婚したばかりでさ
頼るとこ
ここしかなくて
大丈夫 明日から
寮つきの就職先
さがすから
すぐ出て行くように
するからね
え
出てくって
私が冷たく
したから？
やだ…
違う違う
最初から
数日ぐらいの
予定だったし
はい
俺のイチゴ
……
しずくちゃん？
やだやだ
やだよ
ギュッ

あ
チュ…
チュル
チュル
チュル…
え…
ちょっ…！
チュ…
あ
……
あ
あ
しずくちゃ…
うわっ！
ドサッ
仕事なんて
見つけなくて
いいから
ずっと家に
いて！

ダメだよ…っ
星乃さんが
帰ってく…
今日
お姉ちゃん
おそいから！
小さいときみたいに
お姉ちゃんが
帰ってくるまで
一緒に
遊んで
……
昨日お風呂で
見ちゃった時から
そのあと
しずくちゃんの
エッチな声も
聞こえてきて
私と一緒じゃ
イヤかな…？
このままだと
変なことばっか
考えそうで
早くここを
出て行かないとって
ユウキ

ん…♡

あ

チュッ

チュッ…

ああ

チュッ

チュッ

ユウキがエッチな声だしてる…

もみもみ

もみ

もみ

ちょ…そんなこと…

あ あああ

ぐぐ…っ

んっ

ペロッ

はぁ

ん——っ

ギュー…

はぁ
ツツ――……
あ
チュル
チュル
チュル
コプッ
はっ
んっ
んんっ
クプププ…ッ
はぁ
はぁ
ジュプ
ジュッ
ジュボッ
あああ…っ
しずくちゃ…
ギゅっ♡
！

んぐ…
ユウキが
私のオッパイ…

んん
カリカリ
カリッ

んっ！
ぎゅっ
んぐ！

スリッ
スリッ
スリッ
ん――っ
チュルーッ
あああ
ぬぷっ
ぬちゅっ
やぁぁん
キモチいい…よ
ぬちゅっ
ぬぷっ

あ
ぬるっ
はぁ
あ
はぁ
ぬちゅ
ぬちゅっ
ぬちゅん
ぬにゅっ
にゅぷ
にゅぷ
は——
はぁ
ぬぷっ
ぬちゅっ
あ…あ
挿入っちゃう…
ぬちゅっ
ぬぷっ
挿入っちゃ…
ぬぷぷっ
ううあぁ!!

ユウキィ
んああ
膣奥まで…
挿入ってるよぉ
ユウキ
ぬちゃ
ぬぷっ
ぬちゃ
ユウキィ〜!!

あ いまユウキが
きたばっかなのに

やだ まだ
イキたくないよぉ

ぐいっ

くにゅ

あ〜〜〜〜〜

イキたくないって
言ってるのに…ぃ！

コリッ

コリッ

コリッ

コリッ

んああ
ああああ

ビクン

ビクン

やだぁ！

ビクン

いやぁぁぁ！

ビュクーッ

ビュルルュ

あ…あ…
ああ～～～
ぴくん
ぴくっ
ぴくん
ぴくっ
動き
ぴくっ
足りないのに
ぴくっ
ひくひくう…
バカ…
ひく
ひくん
決まりね！
ユウキは
就職しちゃ
ダメだかんね
ず――っと
家事係ね！
ええっ
そんな それじゃ
俺ヒモ人生…
いいの！
私とずっと
お留守番
してるんだから
ね
ユウキ
う…
はい…
負けた…
自分に
負けました…
やったぁ
――
END

ずるいよぉ
ユウキ

しずくちゃん…

どうして
お姉ちゃんの会社に
就職しちゃったの？

社員が一人
辞めちゃったって

星乃さんが
推薦して
くれたから…

ぬにゅっ

にゅぷ

にゅぷ

んあっ

もう昼間に
こんなことも
できなくなっちゃう
んだよ…

ギシッ

ギシッ

ギッ

ずっと家にいて
くれるって
約束したのに

ずぷっ

じゅっ

あ！

あああ

ぬちゃ

ぬちゃっ

ぬぷっ

ずっ

あ♡あんっ♥

イ…クッ
イ…クッ

あ〜〜〜〜
あああんっ

イ…ちゃうう♥

ビュルル

ビュクッ

これやったの
吉田君？

全部
やり直しね

第10話
EROITOKO

ちゃんと
マニュアル読んで
いないでしょう？
ここのやり方
早く覚えてください
星乃さん…
それと
吉田くん
ここではちゃんと
名字で呼んで
くださいね
就職して
三日
俺は
星乃さんのチームに
配属された
ねえ君
吉田さんの
イトコだって？
え…
まぁ
吉田さんは
身内にも
厳しいねー
美人の
バリキャリ！
先週辞めた新入社員も
吉田さんの
指導のせいだって
ウワサだけど
普段でも
あんな感じ？
いっ…
いえ！
おしゃべり
していないで
席に戻って
……
星乃さん…

服のボタンとれちゃったの…

はい任せてください

お風呂のお湯溢れちゃった～

いつもはあんなに頼りないのに…家とはキャラが違う～～～～

とにかくこの仕事が一段落するまで気が抜けないから新人くんも大変だけど頑張ろうね

歓迎会はその後でいいかな？

はい！

はい しずくちゃん

はいっ

ありがとうユウキー

わーいかぼちゃのお味噌汁だー

昔から好きだったよね

今度かぼちゃパイも食べたい！

じゃ今夜作っとくよ

……

おいしいわ
いつも
ありがとう
ユウキくん
星乃さん…
な…なんか
嬉しい…
こんなふうに
星乃さんに
仕事でも
ほめられたいなぁ

それからは毎日が
指導・失敗の
繰り返しで
また
やり直し
今日は残業ね
スミマセン…
もっと詳しく
まとめて！
ハイ！
ちゃんと
ソフトの使い方も
完璧に覚えてね
星乃さんも
つきっきりで
教えてくれて

そして二週間後
トン
部長からの
お墨付きも
もらったし…
みなさん
お疲れさまでしたー
やったー
打ち上げ
行きましょう！
吉田君の
歓迎会も
一緒に〜♪

お店予約してあるから先に行っててくださいね
私が明日からの仕事のチェックしておくので
ハーイ！
……ありがとう…
吉田君も…
おっ俺も手伝います！
ユウキく…吉田君もきつかったでしょう
短期間であれだけできるようになるなんてすごいわ
褒めてくれた…星乃さんが初めて仕事で…
ドキン
なんだ…ドキドキする…

ガタンッ
え？
なに？
エレベーターが止まった？
閉じ込められちゃってるの…？
多分すぐ動くと…
やだ…どうしようユウキくん…
し…しがみついてる～星乃さんが～
大丈夫ですよ停電もしていないし
名前で呼んでるし～。。
怖いんじゃなくて責任感が強いだけで
みんなちょっと誤解してるよな
ホントはこんなにかわいいのにな
あ…のえーと…
前の新入社員どうして辞めたんですか？
え

困ってる…
えやっぱ星乃さんの指導で…？
お…襲われそうになって…
お…に…なって…
え？
二人で残業中に急に…
襲われただと～～～!?
びっくりして噛みついたら次の日から出社して来なくなって
ドキン
なんだすごく腹立つ…
……
ドキ
やっぱそいつも星乃さんのかわいさに気付いてたんだ…
ドキ
かっかわいいなんてからかわないで
私なんてユウキくんより四つも年上なんだから

その上 家事も
できなくて
あなたにずっと
頼りきりで
……
知ってる…のよ
ユウキくんと
しずくのこと…
二人を見てたら
なんとなく…
え
俺たちのこと
気が付いてた
だからどうしても
二人だけの時間を
なくしたくて…
うちの会社に…
ドキ
妹に嫉妬
するなんて…
ドキ
ヤバい
ドキン
年上の
イトコが
かわいくて
どうしようもない…
ん
ドキ…
ドキ

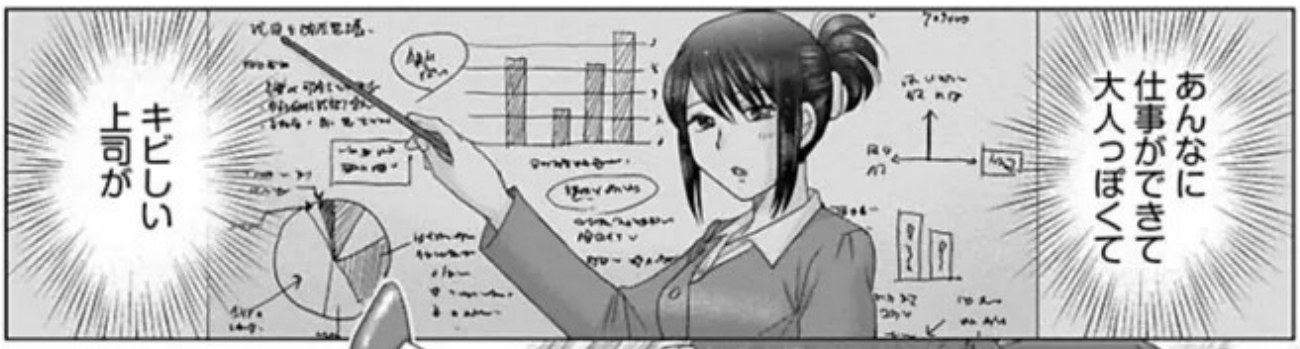
ん…ん
チュッ
ん…
ユウキく…
チュッ
チュッ
チュッ
あふ…
チュルッ
噛みつかないの？
星乃さん
俺もこれから
襲いたくて
たまんないんです…
そんなこと
ユウキくんに
できないわ…
あ…
プルッ
はぁ
はぁ
ぬむっ
ああっ

ああ
くにゅ
は
くにゅ
くにゅん
小さいころから
ユウキくんは
ずっとしずくと
一緒で
チュプ
クチュ
チュプ
チュプ
チュ
クチュ
きしゃ
きしゃ
私なんか
入り込めなくて
ああ
ぎゃうううう
今だって
私のいない間に…
あ
ああ
や…
そんなとこ
ダメ…
くにゅ
レロ…
！

ひっ
ん…ふ…っん
いあああああ
あひっ…！やぁぁぁ吸うなんてぇ…！
はぁ
はぁ
はぁ
チュル
チュル
チュル…
おっぱいまでぇ…
ああああ
あ――！
イッ…！
イク…イクイク…っ…♡

エレベーターが開いて誰かが入ってくるかもしれないけど…
ジジジー…
もうそんなのどうだっていい
はーっ
はー
あ
ここで…？
ヒクン
ヒクン
ヒクン
ヒク
お願い…ゆっくり…して…
ピトッ
んぁ
ギチ…
え？
ギチ…
ギチ
あ
もしかして星乃さん
あ…
…くっ
バージン…
んんっ
ズンッ

にゅぷ
ぬにゃっ
あ…
あああ
ユウキくんと
わたしが…っ


あんなに
仕事ができて
大人っぽくて
キビしい
上司が

はぁ
はぁ
怖いから
こっちにきて
もっと
抱きしめて
こんなに
頼りなく
なるなんて
は――っ
あ…ん
もっと強くっ
俺の年上の
イトコ…

もっと
う…ごいて
大丈夫…だから
ユウキ…く…
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ああ
…あふ
ズルーッ
抜いても
挿しても…
星乃さんが
俺の周りに
まとわりつく…
んあっ
ズリュ
ズリュ
あぁ——
しずくちゃんより
やわらかいおっぱい
チュ
んく
チュ
チュ
チュ
チュ
ユウキくん
ん
唇も
ぷっくりして
膣中は
う…ううんっ
ぬぷ
ぬぷぷ
こっちが
深い…♡
後ろから…は
膣奥にい…

しずくちゃんと
星乃さんを
比べるなんて
俺も相当
情けないけど
射精る…っ
も…
射精ちゃう
から…っ
もう…抜いて
い…い…？
あ…やだ
膣中に
射精して…っ
もうふたりとも
好きになっちゃったんだし
ユウキ…
ユウキィ！

どっちかなんて選べない…！

ああああ♡

ん…はぁぁぁぁ♡

あ…

ズルル……

ああ

はぁ
はぁ
はぁ
でも今は
星乃さんが
好きだ

ユウキくん
…いいよ…
私たち二人とも
愛してくれる？
え

はぁ
……
は――

ね？
……
ハイ…
さ…最強だ
星乃さんは
しずくちゃんより
最強…
きゃっ
ステキ♡

しずくと私で
ユウキくんを
はんぶんこするから♡
ええ!?
♪

END

ここからは
9話と10話の
続きマンガです
ひゃっ
トロォー…
じっと
してね
お姉ちゃん
あ
大丈夫
ハチミツだから
おいしいよ
なに
これぇ…
ああ
今日はユウキが
お姉ちゃんを
料理して
くれるって
私たち三人
両想いに
なってから
私はずっと二人に
責め続けられて…
まずはこれを
丹念に
塗り込んで…
あ
スキマも
丁寧に…
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ああん

ああっ
はひっ…
あ～～～
やっぱもう
ガマンできない！
私も
お姉ちゃんと
一緒にキモチよく
して！
あ…
ああああ
ダメェ…
ユウキくん…
チュプ
チュプ
チュプ
クチュ
チュプ
ひ…
あああっ
クリッ
クリッ
クリッ
クリッ
んんっ

ああ
あ
にゅぷ
ぬにゅっ
ああ♥
ハチミツが
ヌルヌルする…
こんなこと
どこで覚えて
きたの…お
しずく…♥
ああぁ
しずく…っ
あああん
ぬるっ
あふぅ…！
ぬるっ
ぬちゅ
お姉ちゃんの
固いクリが
擦れて…
キモチいい…
ぬるっ
……
しずくちゃん
星乃さん…
チュ…
！
チュ…
ひぁ…っ！

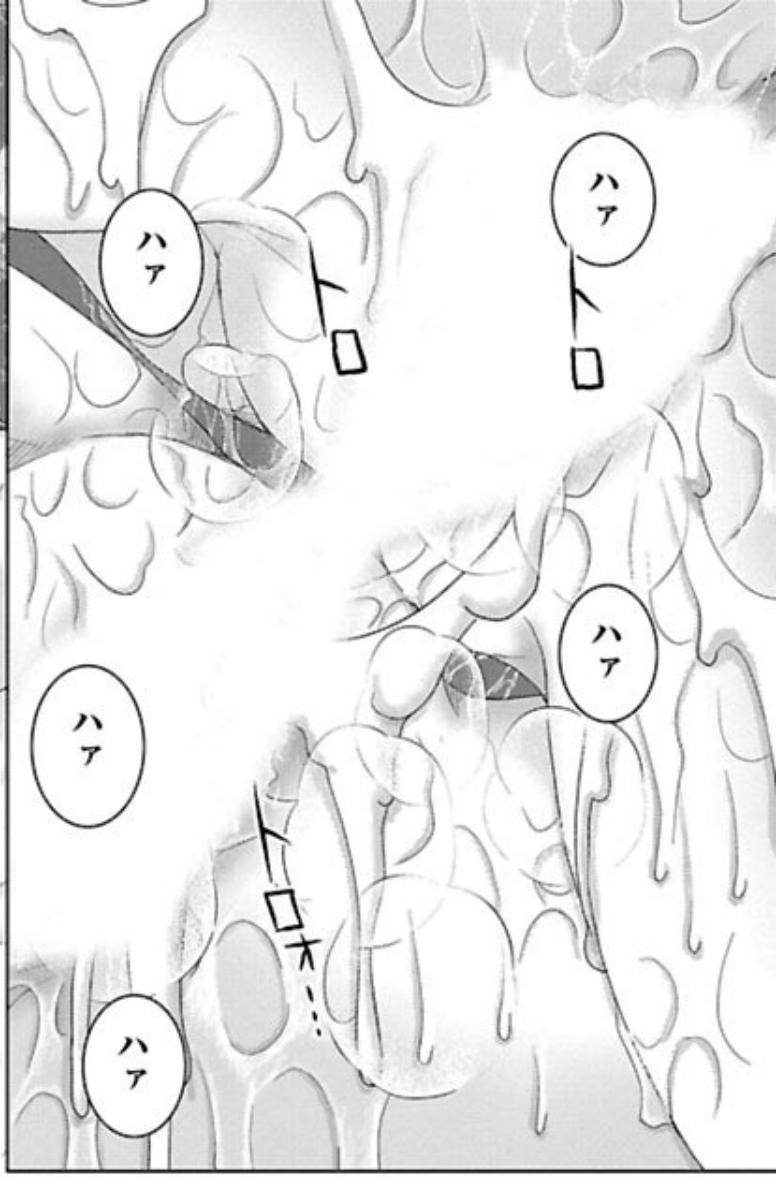
ズズッ
ズルッ
舌が間に……♥
んああ…！二人同時になんてぇ…
ジュッ
!!
んああ
ピクン
ピクン
ああああああ！
ううう うくぅ… クリが吸い込まれるぅ
ズーーッ
イヤァァァ 伸びちゃう…
ああっ…！ あっ…♥
ビクッ…!!
ビクーーッ

お姉ちゃん
もうイッちゃってる…
あ――
ピタッ
星乃さんが
イッちゃってる間に
ズズズ…!!
え…
ああ
まだダメェ
いまはダメ…!
こういうこと
まだ慣れて
ないからね♥
ああぁ――
やあああああ
ぬぷ～
ぬぷ～
ぬちゃ～
ぬちゃ～
膣中(なか)まで
イッちゃうからぁ!

あ
ポッ
ピタッ
あ
ズッ
ズッ
ズッ
あ…♥
ユウキ
やっ
ゴプッ
あっ♥
んふっ
ゲプッ
ゴポッ
はひっ
ズプッ
あああああっ♥
やばいい…
うく…
二人の膣中の違いが
いっぺんに…
ビクッ
ビクッ
ビクッ

う…あっ
三突きずつ
交互にぃ…
あ
抜いたり
挿れたり…
こんなにイッパイ
されたらぁ…
あ
また
きちゃうぅ
あ
はあああぁん♥
キモチいいい♥

お姉ちゃんのイキ顔かわいいね♥
あー
あ――
ほんとだ…


ハァ
トロ
ハァ
トロ
ハァ
トロォ…
ハァ

決めた！明日は三人でピクニック(アオカン)しよう！
おべんと作ってねゆうき♪
え～～～そんなぁ誰かに見られたら…

私は行きたいわ…
ね？ね？ユウキ！
う…

これが私たち姉妹とイトコのユウキくんとの休日の過ごし方です♥
ハイ…
ついのせられてしまう…
海と山どっちがいいかしら♥
星乃さんのがノリ気～～～

ーおしまい♪ー

「えろイトコ。」読んでくださって
ありがとうございました。
えろイトコ
EROITOKO
Presented by YUZUSOFT
ブログ、ツイッターも時々
やってますー^^;
どうぞのぞいてください。
ブログ 「ゆずぽんの日常」
http://norisukeanago.blog.fc2.com/
ツイッター
https://twitter.com/otimusyatarou

初出●アクションピザッツDX2014年12月号～2015年9月号

ANGEL COMICS

えろイトコ。デジタルモザイク版

著　者　ゆずぽん
発行者　梓沢 雅治
発行所　株式会社 エンジェル出版

Ⓒ Yuzupon

デジタル版　2016 年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com